



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	〔仮称〕静岡地区新特別支援学校管理教室棟			BEE	1.6
				BEEランク	A
					★★★★

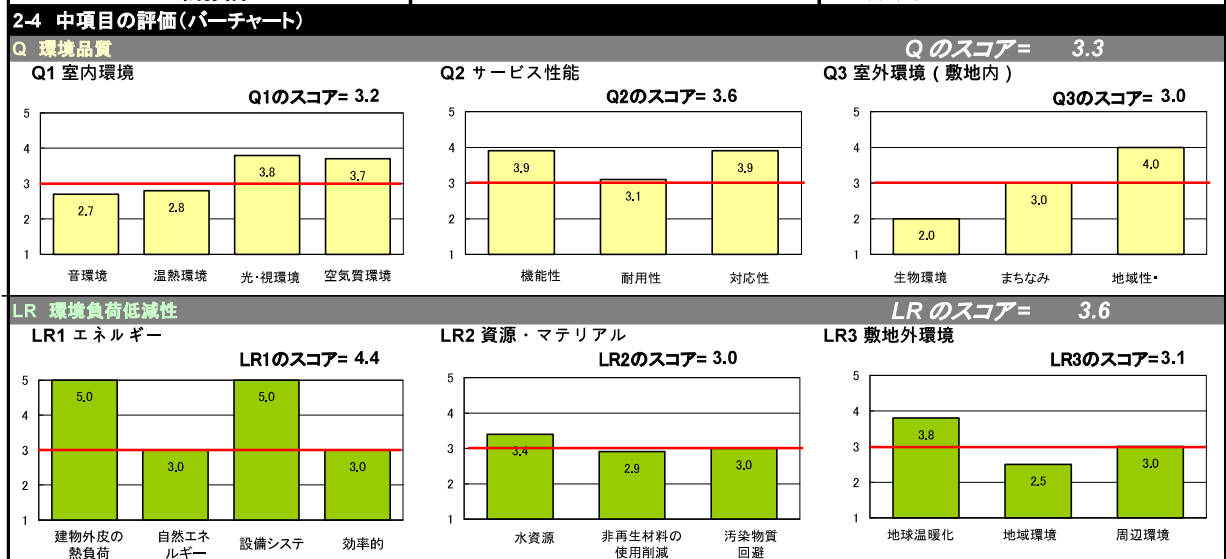
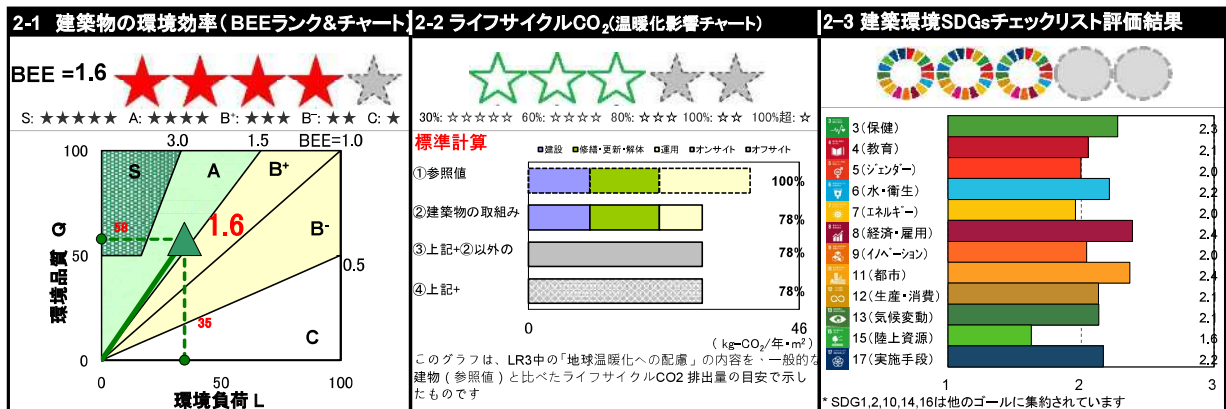
2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価		
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.7	/5	ふつつ		
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.1	/5	ふつつ		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	4.3	/5	よい		
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.6	/5	がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.7
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	外皮性能 昼光利用設備 昼光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2	生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用)	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 モニタリング 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	節水 雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 有害物質を含まない材料の使用 消火剤 断熱材 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2	地球温暖化への配慮 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	3.1
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	耐震性 免震・制振性能 空調・換気設備 給排水・衛生設備 電気設備 機械・配管支持方法 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	4.3
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	ユニバーサルデザイン計画 階高のゆとり 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.6
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	生物環境の保全と創出 まちなみ景観への配慮 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	持続可能な森林から産出された木材 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉静岡地区新特別支援学校管理棟	階数	地上4F	
建設地	静岡県静岡市駿河区曲金6丁目1-5	構造	S造	
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	213 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)	
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2024年3月12日	
敷地面積	13,636 m ²	作成者	針谷建築事務所	
建築面積	1,551 m ²	確認日		
延床面積	4,638 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡 (2021年版) による評価結果です。 知的生徒・視覚生徒それぞれの適切な学習環境を整備し、適切なゾーニング・動線計画とする。 既存校舎との間の中庭や、南側に広がるともだちランドといった外部環境と一体となった計画とする。		その他 特になし。
Q1 室内環境 自然採光・自然通風等の良好な環境を生活空間に取り込む。 適切なゾーニング・動線計画により、機能性の高い計画とする。	Q2 サービス性能 建築物移動円滑化基準を満たし、児童・生徒が使いやすい建物となっている。 機器・システムの後進に備え、スペースの余裕とメンテナンス性の高い計画とする。	Q3 室外環境 (敷地内) 玄関から外部空間へ抜けるような計画とし、風や光が通り抜ける空間を目指す。 外壁の色彩検討を行い、既存棟や周囲の景観と調和させる。
LR1 エネルギー 運営に係る消費エネルギーを把握し、無駄のない効率的な運用を目指す。LED照明、人感センサーの採用。	LR2 資源・マテリアル 県産材を使用する。外構において再生砕石を採用する。	LR3 敷地外環境 十分な駐車場・駐輪スペースを設け、周囲の交通に影響が出ないようにする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される